

■マイルグランプリ (SII) (過去全 31 回の分析)

※第 1 回（平成 7 年）から第 16 回（平成 22 年）までは 3 月中旬～5 月下旬に実施

※第 17 回（平成 23 年 3 月 30 日実施予定）は東日本大震災の影響により中止

※第 18 回（平成 23 年 11 月 2 日実施）から第 26 回（令和元年）までは 10 月中旬～11 月中旬に実施

※第 27 回（令和 2 年）から第 29 回（令和 4 年）までは 7 月下旬～8 月上旬に実施

※第 30 回（令和 5 年）からは 10 月中旬～11 月中旬に実施

※第 8 回（平成 14 年）から第 9 回（平成 15 年）までは 1,590m で実施

※記録は令和 7 年 10 月 5 日時点

■上位人気馬の成績はまずまず

単勝 1 番人気馬は 11 勝、2 着 2 回、3 着 7 回で、3 着内率が 66.7%、単勝 2 番人気馬は 7 勝、2 着 4 回、3 着 5 回で、3 着内率が 53.3%、単勝 3 番人気馬は 4 勝、2 着 7 回、3 着 2 回で、3 着内率が 43.3% となっている。極端に好走率が高いわけではないものの、上位人気馬がそれなりに信頼できるレースと言えそうだ。

■人気サイドの馬が上位を占めた例も少なくない

中止となった第 17 回を除く過去 30 回のうち 22 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を收めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフィニッシュ決着は 7 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 3 回ある。

■スマイルウィなど 3 頭が“連覇”を達成

マイルグランプリにおいて 2 回以上の優勝経験があるのは、第 2 回（平成 8 年）と第 3 回（平成 9 年）を制したコンサートボーイ、第 23 回（平成 28 年）と第 24 回（平成 29 年）を制したセイスコピオン、第 30 回（令和 5 年）と第 31 回（令和 6 年）を制したスマイルウィの 3 頭である。なお、いずれも 2 回連続の優勝だ。

■ 3歳時に勝ったのはクリスタルシルバーのみ

馬齢別の勝利数を見ると、3歳が1勝、4歳が9勝、5歳が8勝、6歳が7勝、7歳が5勝となっている。施行時期の変更により第18回（平成23年）から出走条件が「3歳以上」に変わったものの、3歳で優勝を果たしたのは現在のところ第25回（平成30年）のクリスタルシルバーのみである。

■ 牝馬と外国産馬は未だ初勝利ならず

牝馬は第11回（平成17年）のブルザトリガー、第13回（平成19年）のアウスレーゼ、第19回（平成24年）のラインジュエルがそれぞれ2着となったものの、現在のところ未勝利だ。また、外国産馬も第9回（平成15年）のタイキアーサーによる4着が最高着順で、優勝例はまだない。

■ 13勝の大井勢を11勝の船橋勢が追う

所属別の勝利数を見ると、浦和が2勝、船橋が11勝、大井が13勝、川崎が4勝となっている。船橋勢ならびに大井勢が優勢だ。

■ 騎手別の歴代最多勝記録は「4」

騎手別の勝利数を見ると、石崎隆之騎手と張田京騎手が4勝でトップタイ。的場文男騎手、矢野貴之騎手が3勝で3位タイとなっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録は「2」

調教師別の勝利数を見ると、荒山勝徳調教師、岡林光浩調教師、川島正行調教師、栗田繁調教師、高橋三郎調教師、月岡健二調教師、出川克己調教師、張田京調教師、八木正喜調教師が2勝でトップタイとなっている。

■未勝利の馬番はなし

枠番別の勝利数を見ると、6枠（7勝）が単独トップ。4枠（6勝）が単独2位、8枠（5勝）が単独3位となっている。また、馬番別の勝利数を見ると、8番（4勝）が単独トップ。2番と10番（各3勝）が2位タイ、6番、7番、9番、11番、12番、13番、15番（各2勝）が4位タイで、残る馬番はいずれも1勝ずつである。

＜伊吹雅也＞